

韓国は「敵」なのか

東洋経済新報社 編集委員
福田恵介
2019年8月31日

日韓間の貿易収支

- 1965年の国交正常化以降、現在までほぼ韓国側の赤字。
- 2010年代以降、赤字額は年間200億ドル台で推移。

日本から韓国への直接投資額(1962~2015年)

- 累計で申告ベースで約400億ドル、実行ベースで約300億ドル。
- 米国に次ぐ2位の投資額

韓国の貿易相手国のシェア

【輸出(韓国→日本)】

2018年 5位

2008年 3位

1998年 2位

【輸入(韓国←日本)】

2018年 3位

2008年 2位

1998年 2位

訪日韓国人数・訪韓日本人数(2018年)

韓国→日本

753万8952人(国民の6人に1人)

日本→韓国

294万8527人(40人に1人)

日韓の1人当たり国民所得の格差

1970年 = 6.5倍

↓

2017年 = 1.4倍

【購買力平価で計ると1.1倍】

日本企業における中期的な有望国は？

【韓国】

2014年16位



2018年13位

1位中国、2位インド、3位タイ

※海外現地法人を3社以上持つ日本企業605社へのアンケート調査
国際協力銀行『わが国製造業企業の海外事業展開に関する調査報告(第30回)』

日本企業からみた韓国市場の優位性は？

・【長所】

- 現地マーケットの現状規模
- 現地マーケットの今後の成長性
- インフラの整備状況

・【短所】

- 労働コストの問題
- 労務問題

韓国では儲かるのか？

韓国への進出企業のうち2018年は営業黒字

84.9%

製造業88.9%、非製造業82.8%
(ASEAN64.9%、台湾84.4%、中国71.7%)

日本貿易振興機構(JETRO)
『2018年度 アジア・オセアニア進出日系企業実態調査』、回答企業数134社

韓国市場の成長性

- 1～2年後の経営姿勢として「現状維持」が半数(55.3%)
- 「貿易制度」「生産体制」に韓国は優位との判断が、他国と比べ相対的に高い。

経済から見た日韓関係(長所)

- アジアにおける二大先進経済国→補完的關係を他国に活かせる
- 成長性は新興国と比べ落ちるが、日本企業にはまだ魅力がある
- 韓国における日本の存在感の減退、経済格差の縮小=対等
- 「経済の悪化→政権の反日姿勢」ではない
- 日韓企業が互いに学ぶべきところがある

経済から見た日韓関係(短所)

- ビジネスマナーへの不信(商習慣、契約厳守への姿勢、組織文化)
- ベンチマーキングはいつでも日本
- 思わぬ「政権」「市民」の反発
- 北朝鮮リスク
